

# 農業委員会だより



## 農地パトロールを行っています

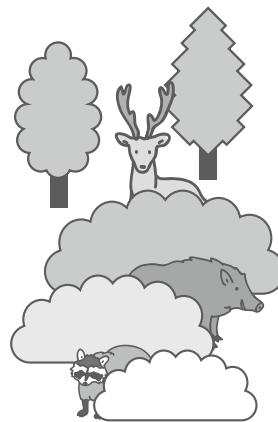


農業委員会では、優良農地の確保と農地の有効利用の促進、また違反転用の発生防止と早期発見を目的に農地パトロールを行っています。

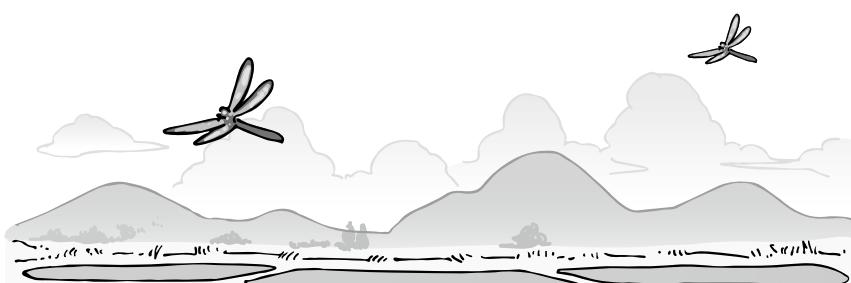
農地パトロールは、農業委員と農地利用最適化推進委員が農地の利用状況を現地確認します。

農地パトロールの結果、新たに発生した遊休農地については、農地所有者へ意向調査を行なうとともに適正な農地管理の指導等、遊休農地を減らす取組を進めます。

農地に雑草が繁茂するなどして荒廃地化すると、病害虫の発生や有害鳥獣のすみかになるなど、周辺の農地や近隣住民に多大な迷惑がかかってしまいますので、所有農地の適正な管理をお願いいたします。



農地パトロールのようす



No. 65

発行：木島平村農業委員会  
編集：農業委員会だより  
編集委員会

# 農地を転用するときは農地法の許可が必要です

農地を住宅や資材置き場、駐車場として利用する場合は、農地法に基づく農地転用許可が必要です。

また、自己所有農地に200m<sup>2</sup>未満の農業用施設を建てる場合は、許可を得る必要はありませんが農業委員会への届出が必要です。

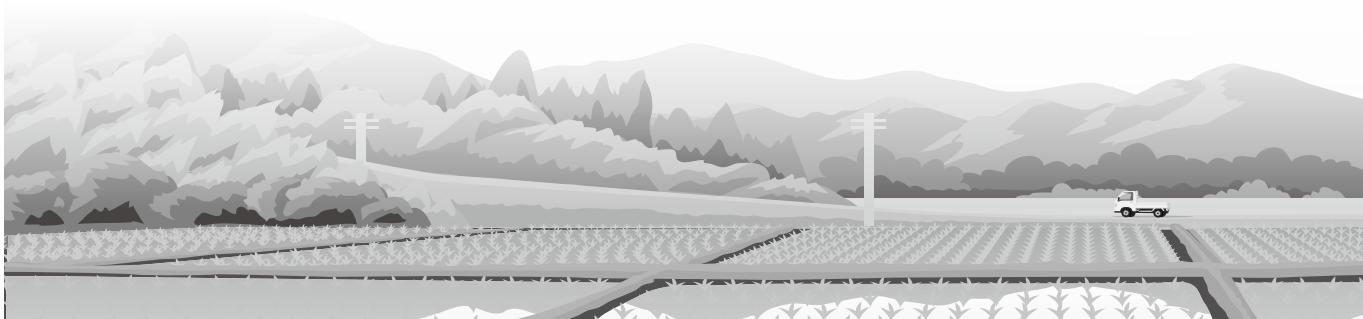


必要な申請	転用の内容	申請者
農地法4条の許可申請が必要	自分の農地を農地転用する場合	転用を行う者(農地所有者)
農地法4条の届出が必要	自分の農地に200m <sup>2</sup> 未満の農業用施設を建てる場合	
農地法5条の許可申請が必要	農地転用を伴う農地の売買を行う場合	売主(農地所有者) 買主(転用事業者)

許可を受けずに農地を転用した場合は、工事の中止や原状回復等の命令が発せられる場合があります。

また罰則の適用もあり、3年以下の懲役または300万円以下の罰金が科せられます。

住宅の建築等農地転用の予定がある場合は、農業委員会へご相談ください。



## 農業委員会の申請締め切りは毎月15日です

## 第2回社会人権同和教育研修講座



9月2日(金)、第2回社会人権同和教育研修講座が開催され、50名を超える村民が参加しました。今回は「やっぱり人権・同和教育は大切です!『人権副読本『あけぼの』作成の現場から』と題し、小中学校で使用される道徳の資料「あけぼの」を中心とした講座となりました。講師は、長野県同和教育推進協議会事務局長の清水稔さんで、「あけぼの」の作成にも深く関わられた方です。分かりやすい差別だけでなく、何気ない言葉が差別に繋がることや、差別に気付くことの重要さを知り、子ども達の差別問題に対する意識や知識を養う土台として、人権同和教育の大切さをより強く感じたと話されていました。

参加者アンケートの回答では、「差別やジェンダーについて、いろいろなところで目にすることになりましたが、ネットや間違った知識に惑わされず、正しい知識を身につけていきたい」、「日常生活における“気づき”が大切ということを、改めて考えさせられた」、「“気づき”的機会をいろいろな方に経験してほしい」、「中学生の親として、LGBTについて考えさせられた」、「何気ない言葉、行動にも気づかないうちに人を傷つけるような場面もあるかと思い、気づくことが大事だと思った」などの意見があり、新しい考え方に対する理解や、差別への気付きにつながる講演となりました。

問合せ 人権推進室 ☎ 0269(82)2041



みんなで楽しみをつくりだす村

（自然と文化を守る 人と地域をつなげる）



### 木島平 検定！ きじま平再発見 ~木島平検定に挑戦しよう~ No.38

問80 「からす踊り」は、何の様子を踊りの中に取り入れているのでしょうか？

- (① 烟草を荒らす様子 ② 烟草が寝る様子 ③ 烟草のとぶ様子 ④ 烟草の鳴く様子)

問81 「鬼の首塚」があるお寺はどこでしょう？

- (① 泉龍寺 ② 宣勝寺 ③ 照明寺 ④ 稲泉寺)

解答は、35ページにあります

発行：木島平村公民館

編集：公民館報編集委員会

住所：長野県下高井郡

木島平村大字上木島1762

TEL : 0269 (82) 2041

FAX : 0269 (82) 4020

E-mail:

kouminkan@vill.kijimadaira.lg.jp

生きる  
木島平

No.557

# 木島平考古学通信

—土器は歴史をどう語るか

(村文化財担当 室 正一) むろ しょういち

土の中から出てきた文化財について、全国的なニュースになることはあまりありません。しかし、この村では根塚遺跡が、二度も全国的なニュースとして登場するという快挙を成し遂げました。

新発見があったと報道され、何事かと新聞や広報の写真をみると、そこには白い土器の破片がたった9個しか載っていない。「なんだこれは」と思われた方も多いはずです。しかし「考古学」では、こういう小さなモノでも、時として常識をくつがえすほどのインパクトを持ったり、遺跡の究明になくてはならない資料になったりします。ふつう、発掘の出土品に光があたるのは、発見時に正体がわかり、「珍しい」と騒がれる事がほとんどです。しかし、中には当時の誤解や見落としによって「ありふれたモノ」とされるか、「無視されてなかったモノ」にされる出土品もあります。そのため、出土品(文化財すべてが当てはまりますが)はその道の研究者に繰り返し見直され、再検討されることが理想的です。「ありふれたモノ」でも研究が当時より進んで、わからなかつたことがわかるようになります。見落としていたものの中から、思わぬ新発見につながる可能性もあります。

今回の再整理によって、根塚遺跡から出た「平安時代のありふれた土器」が、「東日本で初となる弥生時代の三韓土器<sup>さんかん</sup>」であったと判明したニュースは、SNSなどで瞬く間に全国へ拡散しました。この発見は、辺境と思われていた当時の東日本で、朝鮮半島を含めた広い範囲でヒトやモノが行きかっていたことを示す重要な証拠とみなされたため、反響は今でも続いています。直近では、毎年の主要な発見を紹介する本『発掘された日本列島2022』(文化庁編)にも取り上げられ、早くも来年には、日韓の国立博物館による国際企画展示『伽耶<sup>かや</sup>』に出展が決まりました。

さて、こんなわずかな土器のかけらで何がわかるのか。作られた技法や形などから時代、産地や用途を想定でき、そこからヒトの行動を考えることができます。土器のさまざまな特性を根拠に、遺跡の年代や移り変わり、ヒトの動きについて一つ一つ確かめることができます。考古学で歴史を描く作業と言えます。研究が進んでいる地域では、20年～50年単位で年代がわかるところもあります。

そんなわけで、遺跡を掘っていて、決め手となる土器がひとつも出てこないと大変です。南鴨地区の平塚遺跡は、その「泣き」をみることになった遺跡でした。重要そうな遺跡がみつかっても、土器がないので、「いつ」の「どんな」モノなのか、まったく見当がつかずに苦戦することになったのです。結局はさまざまな証拠を積み上げることで結論を出しましたが、将来に課題を残すことになりました。

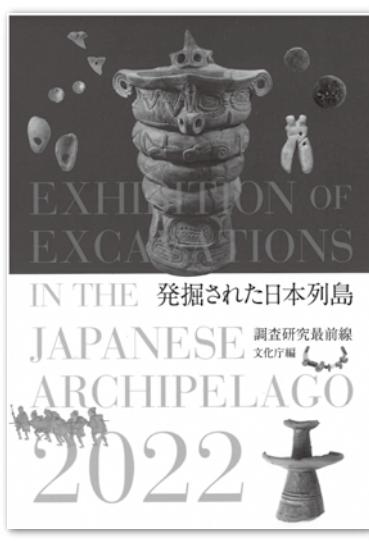
実は根塚遺跡も、土器で年代を決められず、もどかしい思いが続く遺跡です。たくさんの土器が出土したにもかかわ

らず、出てきた「赤い土器」は、年代観が西暦1～200年の間という、非常にざっくりしたものになっています。よって、同時代の邪馬台国<sup>やまと</sup>の候補地である纏向遺跡<sup>まきむく</sup>(奈良県)や吉野ヶ里遺跡<sup>よしのがり</sup>(佐賀県)などと比べ、どっちが早くはじまり、遅く終わったのか、まだはっきり言えない状態です。

そこで研究者たちは、「赤い土器」に紛れ込んだ北陸地方の特徴を持つ土器を使い、こちらの進んだ研究を参考にして時期を決めようとしました。しかし、根塚遺跡のものは地元で作った北陸の「そっくりさん」だったので、オリジナルと一致するはずもなく、またしても意見が分かれてしまいました。結果として、全国の遺跡(特に邪馬台国連合のクニグニ)との関係性は、まだ曖昧なままであります。

一級品の「お宝」を持ちながら、ポツンと孤立してしまった根塚遺跡。今まで評価されることが少なかったのは、隠れた事実も多かった一方で、まだ研究や資料が不足していたことも一因でした。今回の見直しや三韓土器の発見によって、その解決の糸口が見えてくることを期待したいと思います。

※日本が弥生時代だったころ、朝鮮半島南部にあった弁韓<sup>べんかん</sup>、辰韓<sup>しんかん</sup>、馬韓<sup>ばかん</sup>というクニグニをまとめて「三韓」と呼ぶ。これらはやがて伽耶<sup>かや</sup>、新羅<sup>しんら</sup>、百濟<sup>くだら</sup>に成長します。



発掘された日本列島2022



9月2日(金)、大人のスキルアップ講座「クラフトバンド工作教室」が開催されました。クラフトバンドとは? クラフトバンドの素材は再生紙で、牛乳パックなどの古紙を原料とした、環境に優しくエコな商品です。加工しやすく扱いやすいので、ハンドメイドの材料に適しています。この日は、講師の指導のもと「かごバック」作りに挑戦しました。参加者からは「環境問題が叫ばれる中、再生紙の利用でこんなにステキなものが作れることに感動した」などの感想がありました。



講師の高森晴美さん



基本的な編み方を学ぶ



簡単にきれいでおしゃれなバッグが完成

## Sports

### FIS・SAJ公認 2022全日本選抜木島平サマーノルディック大会

9月17日(土)から19日(月・祝)に国内最大規模を誇る、国際スキー連盟(FIS)・全日本スキー連盟(SAJ)公認2022全日本選抜木島平サマーノルディック大会が、木島平クロスカントリー競技場で開催されました。今回は、来年1月に開催されるユニバーシアード大会(米国・レイクプラシッド)出場選手の選考会も兼ねており、国内トップアスリートの他、海外からもメキシコと韓国代表チームが参加しました。本村からも中学生・高校生・大学生が参加し、併せて開催された最終日のマラソンには木島平小学校から40人が出場しました。



しづつ 繁烈な上位争いが展開された



国内トップ選手の躍動感あふれる走り



韓国チーム



スタート前に厳格に管理されるローラースキー



クラシカル競技高校の部準優勝  
森稟桜選手(中野立志館高校・中町)

コロナ禍の中、韓国チームを木島平ローラースキー大会に参加させていただけたことに感謝申し上げます。木島平村は景観もよくまた常設のローラースキーコース、トレーニングジムなどはクロスカントリーの環境として素晴らしいところです。ローラースキーコースもよく整備されていてトレーニングに集中できます。また日本のトップスキー選手も利用しているのでたくさんの刺激をもらっています。韓国チームは木島平での大会とトレーニングから多くのことを学んでいきたいと思います。

(クロスカントリースキー韓国代表チーム ハン・ダソン選手)



# 図書館だより

## おすすめの一冊

木島平小学校 黒岩勝廣

何気なく、新聞の新刊の紹介欄を見ていたら、この本を見つけました。小学生の頃、「十五少年漂流記」をドキドキ・ワクワク・ヒヤヒヤしながら読んだ記憶がよみがえってきて、さっそくネットで注文しました。

著者の椎名誠さんは、一般人のレベルとはかけ離れた「漂流記マニア」(本人談)で、世界中の漂流記をほとんどすべて読みつくし、その壮絶なサバイバル記を食べ物に特化して一冊にまとめました。

「『荒海に突然、投げ出されたら、あなたはどうやって生きのびるか?』残された食べ物はわずか。飲み水もない。ウミガメ、海鳥、シロクマ、ペンギン…。初めて口にするものばかりで、運と知恵、最後まであきらめない意志が命をつなぐことになります。」今の世の中、いつ何どき、大海原に放り投げ出されるか分かりません。(そんなことはあり得ないけど、想像の世界の中でなら…。) そういう状況になった時、あわてず、落ち着いてとにかく「食べる」ことで生き延びましょう!と勇気をもらえる一冊です。

## ☆新着図書☆

紙の梱(貫井徳郎) とんこつQ&A(今村夏子) きときと夫婦旅(椰月美智子) 終活中毒(秋吉理香子)  
名乗らじ空也十番勝負8(佐伯泰英) よって件のごとし三島屋変調百物語八之続(宮部みゆき)  
発達障害の人が見ている世界(岩瀬利郎) となりの谷川俊太郎(谷川俊太郎)  
おうちパン1年生の本(門間みか) 【大活字】紫匂う上・下(葉室麟)  
読み書き障害<ディスレクシア>のある人へのサポート入門(河野俊寛・平林ルミ)  
ひとり暮らしで知りたいことが全部のってる本(主婦の友社) 重要証人(サイラグル・サウトバイ)  
ざっくりわかる簿記の本(宇田川敏正)

## ☆児童図書☆

和の行事えほん 秋と冬の巻(高野紀子) ドーナツペンタくん(柴田ケイコ)

### ■ 休館のお知らせ ■

図書館内の蔵書点検をおこなうため、毎月最終火曜日は休館します。  
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

### 今月の点検休館日

10月25日(火)

## ちっちゃな図書館

往郷911-7若者センター内 ☎82-3111(内線206) 月曜日休館  
開館時間・平日9時~17時45分/土日祝8時30分~17時15分



## きじま平再発見 ~木島平検定に挑戦しよう~ 解答編

### 問80 ③鳥のとぶ様子

●からす踊り…修驗道に由来する舞踊。戸隠山の「宣澄踊り」が原形で、北信から新潟県魚沼郡まで広まっている。踊りの所作は繰り返して、歌詞は即興でつけ加えることができる。

### 問81 ③照明寺

●鬼の首塚…照明寺(大町)の門前にある塚。伝説によれば退治された鬼の首を埋めたという。対になる場所として、胴体を埋めたのが下木島の鬼神堂といわれる。



# 社協だより

No.345



下高井農林高校3年生  
グリーンデザイン科  
森林活用コース

西澤 来夢さん 上野 海夢さん  
長谷川 陸也さん  
小林 涼さん 丸山 将矢さん  
森 優太さん

ユーチューファーストの  
視点で製作にあたり  
ました。みんなの  
生活を支える場面で  
使つてもらえた  
嬉しく思います。

発行：社会福祉法人  
木島平村社会福祉協議会  
住所：木島平村大字往郷908-3  
TEL：0269(82)4888  
社協ホームページ  
<https://sites.google.com/view/kijima-syakyo/>

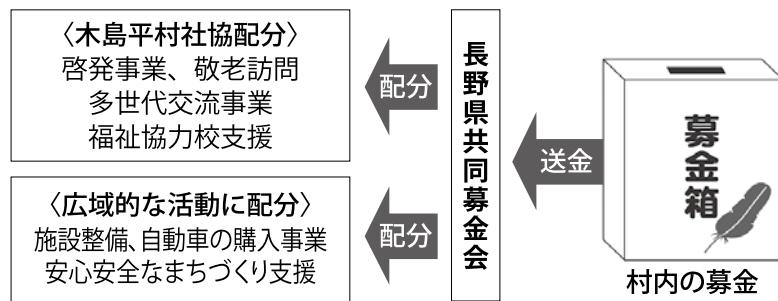


**赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします**

共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」として、すべての方が安心して暮らしていくためのまちづくりを目指し、さまざまな福祉活動を支援しています。

● 10月は赤い羽根  
共同募金運動の活動強化月間です

● 募集方法  
全戸配布の募金用封筒、職場や学校での募金、事業所募金、村内募金箱など



下高井農林高校3年生グリーンデザイン科森林活用コースの皆様に木製ベンチを作つていただきました。

木製ベンチの利用者に形、大きさ、高さ等細かな点まで丁寧に聞き取りを行い、リクエストに応える立派なベンチが完成しました。

社協では感謝の気持ちを伝えるため、贈呈式を準備しました。贈呈式を盛り上げるための、垂れ幕、くす玉を社協事業を利用する方々に作成していただき、大変賑やかな式が執り行われました。



この社協だよりは共同募金の配分金で発行されています。



# 合同いきいき広場開催

9月29日、北部地区を対象に合同いきいき広場を開催しました。

内容は「芸術の秋」にちなみ、ピアノ演奏を若者センターを会場にお楽しみいただきました。村内出身の平井厚子様にお越しいただき、クラシックから童謡、唱歌と幅広い曲目を演奏いただきました。

新型コロナウイルスの影響もあり、少人数での開催でしたが、ご参加いただいた方からは「気持ちがリフレッシュできた」「懐かしい音楽に、子ども時代を思い出して感動した」と好評でした。



## いきいき広場 楽・楽貯筋教室 ★再開しました★

新型コロナウイルス感染拡大の影響から中止していた、いきいき広場と楽・楽貯筋教室を再開しました。

再開を待ちわびていたとの声をいただき、嬉しく思っています。

これからも、皆様が楽しく過ごしていただける工夫を取り入れて活動していきたいと思います。



## 村民祭ふれあい作品展示会のお知らせ

とき 10/31(月)~11/5(土)

会場 中町展示館

内容 作品展示 (デイサービス、ひなたぼっこ、いきいき広場、なごみサークル)

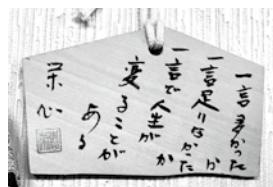
社協の事業をご利用  
いただいているみなさんの  
作品です。秋を感じる作品など  
どの作品も大作です。  
是非、ご覧ください!

## 社協の予定 10/15~11/30

- 10/26(水) ○ふれあいランチ
- 11/2(水) ○心配ごと相談  
(相談員…調停委員、民生児童委員)
- 11/5(土) ○障がい者 希望の旅 じょんのび
- 11/9(水) ○ふれあいランチ
- 11/16(水) ○ふれあいランチ

新型コロナウイルスの影響により、予定を変更する場合があります。  
ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### つぶやきコーナー



一言多かったか  
一言足りなかつたか  
一言で人生が  
変わることがある

### あたたかい善意

#### ご寄附

衣類、食材などのご寄附をいたしました。  
皆さまからのご厚意に感謝いたします。

